

タイトル 幼き日の原風景を切り取って…

タイプ 持家一戸建

講評

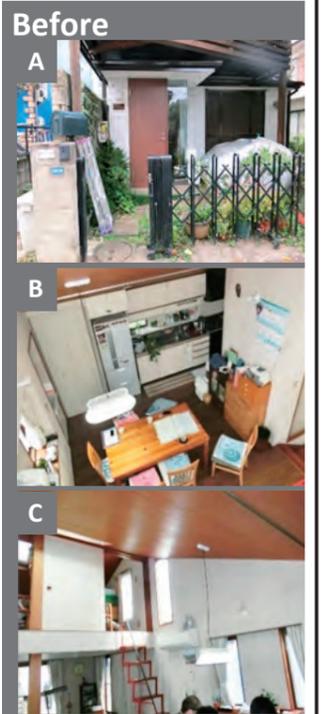
少年時代を過ごした住まいを親から譲り受けてのリフォームである。既存住宅にあった結露の問題は、断熱工事や風の流れを意識した空間づくりで解決している。思い出のある家具や設え、既存の窓を活かしながら、施主の思いに寄り添った快適空間となっている。

設計 (株) スタイル工房

施工 (株) スタイル工房

構造 在来木造

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

**【改修の目的】** ご親族の設計したご実家を受け継がれた施主夫妻。両親や自身の少年時代の記憶が刻まれたキズや汚れささえも美しい。それら記憶の跡を可能な限り残し、新しい部材と融合させ、両親が愛した家を長く住み継ぐための改修。平面的にも断面的にも仕切りのない空間は印象的だが、温熱環境に関しては改善が必要だった。

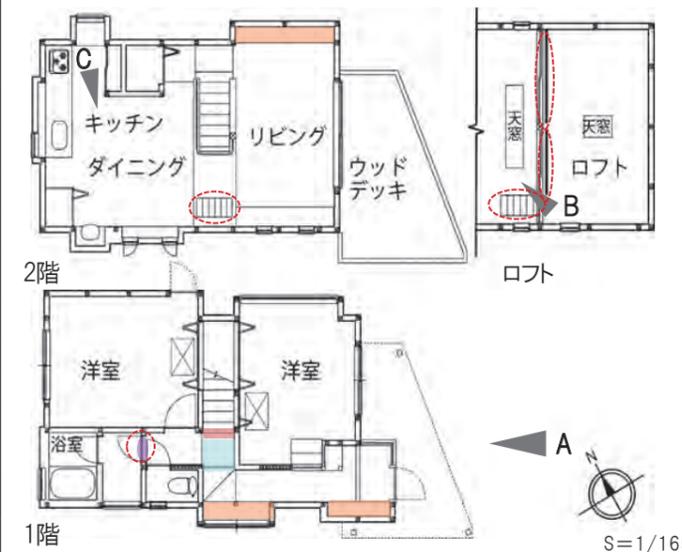
**【プラン・施工】** 意匠性の高いスキップフロアによるダイナミックな空間構成、柱梁は元より今では手に入らないラワン無垢板など貴重な部材が使われていた。部材を活かしながら施主夫妻の暮らしに合わせた。

日中の生活は2階で完結するようサンタリーを2階へ移動、1階は寝室とご希望のアトリエガレージに。窓の大きさや開閉はこの家に住んでいた両親から風の流れ方を聞き決めた。貴重な部材をどこまで再利用できるかは細やかな解体と職人の腕次第。気心の知れた職人と綿密に打ち合わせ、既存部材を移植し新しい素材と融合させた。建具枠や巾木の樹種・サイズ・納め方まで当時を再現。懐かしい記憶を抱きつつ、格段に住みやすくなり、施主夫妻はもちろんご両親も喜ばれ、これからもこの家を慈しみ長く暮らし続けていけると、感謝の言葉をいただいた。

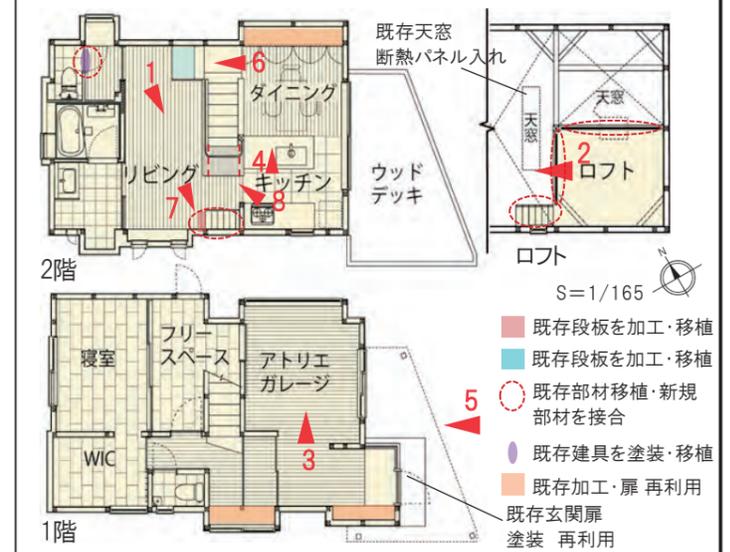
性能向上の特性 耐震:評点0.19を1.13に。断熱:4等級相当(断熱材の充填・サッシの入れ替え・外皮断熱)	特に配慮した事項 『平成29年度高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業』を活用。断熱材の充填、サッシやガラスの交換と合わせ、完全な外皮断熱を実施。	lw値 リフォーム前 0.19 リフォーム後 1.13
---	---	-----------------------------------

所在地 東京都武蔵野市	新築竣工年 1986年	築後年数 33年	施工期間 120日間
該当工事床面積 84㎡	総工事床面積 84㎡	該当部分工事費 2010万円	総工事費 2010万円
居住者構成 65歳以上:0人 / 15~64歳:2人 / 15歳未満:0人 /			

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ □便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □共用部分/ □その他